明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

プログラミング演習(3)
変数： 計算とアニメーション

中村，高橋
小林，橋本

目標

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- Processing で計算してみよう
- Processing で変数を理解する
- Processing で繰り返しのアニメーションをしてみよう
- Processing で相対位置に描画してみよう

計算してみよう

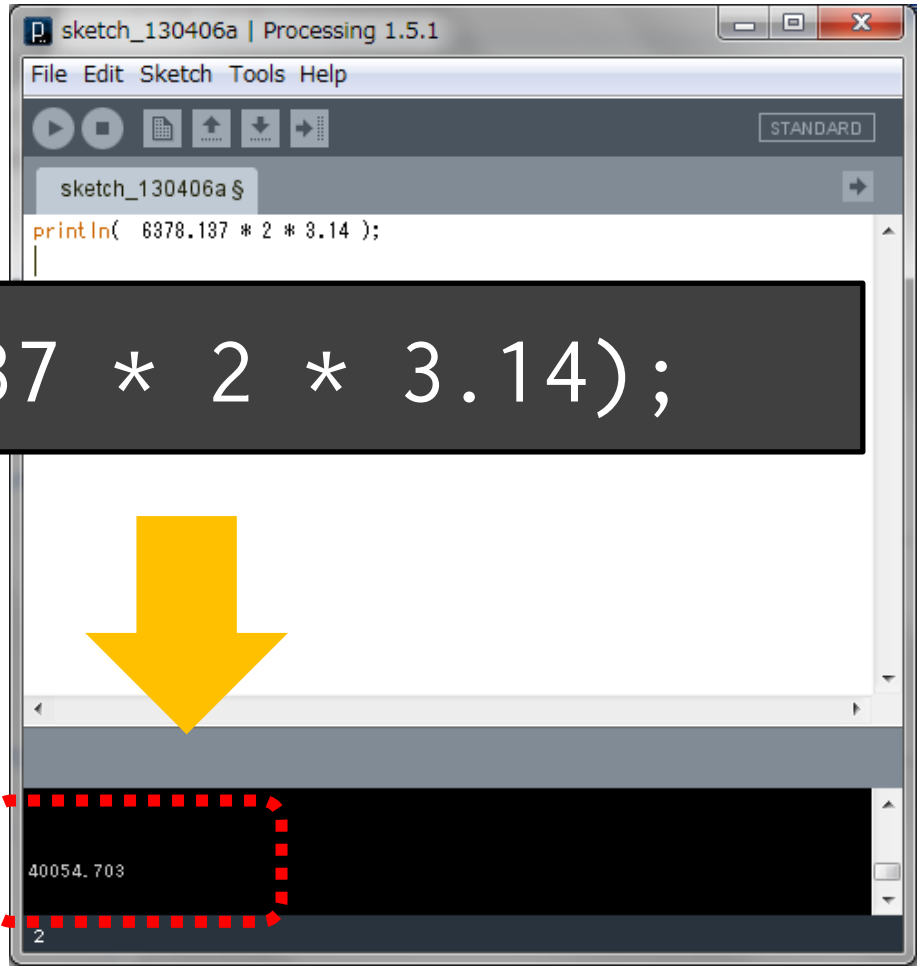
明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 地球の半径は6378.137km．では，地球1周の距離はどれくらいになるでしょうか？

```
println(6378.137 * 2 * 3.14);
```

l は 1 でも I でもなく L の小文字

*** は x の意味**



標準出力とは？

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

println(表示したい内容);

- 数値や文字を表示して確認したい時に利用
- 数値を表示する場合は，そのまま数値や数式を括弧内に記述したら表示可能

```
println((10+8)*10/2);
```

- 文字列（nakamuraなど）を表示する場合は，ダブルクオーテーション「”」で最初と最後を囲む

```
println(”nakamura”);
```

演算はどうするか？

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室


```
5 + 3

10.5 + 3.8

5 * 3

5*3 + (6-4)/2

(5+3) * 6/2
```

5 + 3	5 に 3 を加える
5 - 3	5 から 3 を引く
5 * 3	5 に 3 を掛ける
5 / 3	5 を 3 で割る
5 % 3	5 を 3 で割った余り
+ 5	5 そのもの
- 5	5 の + と - を反転

処理順序は算数と一緒

演習（色々計算）

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 半径が15cmの球体の体積を求めよ
  - 体積の求め方は？ $V = \frac{4}{3}\pi r^3$
- 楕円の面積を求めよ（長半径100,短半径50）
  - 楕円の面積の求め方は？ $S = \pi ab$
- 上底が18，下底が20，高さが18の台形の面積
  - 台形の面積の求め方は？ $S = \frac{(jotei+katei)\times takasa}{2}$

コンピュータは計算間違いしない！
計算はコンピュータに任せよう！

命令に計算式を入れてもOK

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 画面の中央に配置したい！
  - 横幅と縦幅を2で割った値が中央だ！

```
void setup()
{
  size(400, 300);
  background(255, 255, 255);
}

void draw()
{
  fill(255, 0, 0);
  ellipse(200, 150, 150, 150);
}
```

```
void setup()
{
  size(400, 300);
  background(255, 255, 255);
}

void draw()
{
  fill(255, 0, 0);
  ellipse(400 / 2, 300 / 2, 150, 150);
}
```

命令に計算式を入れてもOK

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 画面の中央に配置したい！
  - 横幅と縦幅を2で割った値が中央だ！
  - 横幅widthと縦幅heightを使っても良いよ！

```
void setup()
{
  size(400, 300);
  background(255, 255, 255);
}

void draw()
{
  fill(255, 0, 0);
  ellipse(width / 2, height / 2, 150, 150);
}
```

整数と実数と真偽と文字列

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

【整数: int】…, -3, -2, -1, 0, 1, 2, 3, 4,…

- ただし，扱える数字には上限と下限があります

【実数: float/double】3.145926, 1.414213,…

- 有理数のみ，無理数はありません

【真偽値: boolean】true: 真，false: 偽

- 真偽値は，「～なら～」や「～の間～を繰り返す」のように条件分岐などで使われます

【文字列: String】 中村聡史，Satoshi，nkmr,…

- 文字列はダブルクオーテーション「"」またはシングルクォーテーション「'」でくくって表現します

整数と実数

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- Processingでは整数（0，1，2，3，4，5，6,…）と，実数（0.0，1.0，2.0，3.5,…）を明確に区別
  - 整数同士の計算結果は整数になる！！
  - 整数と実数の計算結果は実数になる
  - 実数と実数の計算結果は実数になる
    - 50 + 100 = 150
    - 50 * 100 = 5000
    - 50 + 100.0 = 150.0
    - 50.0 / 100.0 = 0.5
    - 50 / 100.0 = 0.5
    - 50 / 100 = 0
    - 50 / 20 = 2

実数を整数に変換

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 「実数を整数」または「整数を実数」として扱いたい場合は，キャスト（ある型から別の型へと変換すること）を行う
  - キャストを行う時は括弧で変換先の型を書く

```
(int)3.14159265
```

```
3
```

```
(float)3
```

```
3.0
```

```
3 / (float)10
```

```
0.3
```

```
3 / (int)10.0
```

```
0
```

キャストの特徴

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 実数から整数への変換では切り捨てとなる

```
(int)3.14
```

→ 3

```
(int)3.9
```

→ 3

- 四捨五入したい場合は 0.5 を足してから

```
(int)(3.14 + 0.5)
```

→ 3

```
(int)(3.9 + 0.5)
```

→ 4

文字列の足し算は？

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- "nakamura" + "satoshi"
  - "nakamurasatoshi" となります
- "60" + "20"
  - "6020" になります
- 60 + "20"
  - "6020" になります
- "60" + 20
  - "6020" になります
- 60 + 20
  - 80 になります

サイコロを作ってみる

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 同じ確率で 1，2，3，4，5，6 のいずれかが選ばれて，その数値を表示するプログラムを作る
- 考え方
  - 1～6の値をランダムに取り出して表示する！
  - ランダムな値を取り出す方法は random ！

```
random(この値以上, この値未満)
```

  - 1以上で7未満の数字を取り出すのは…

```
random(1, 7)
```

サイコロを作ってみる

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 1以上7未満の数字を出力！

```
println(random(1, 7));
```

- 残念ながら実数が表示されてしまう！
- そこでこの値を整数にキャストする

```
println((int)random(1, 7));
```

- できた！　ちなみに下記でもOK

```
println((int)random(0, 6) + 1);
```

```
println((int)random(6) + 1);
```

変数

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 変数とはコンピュータ（プログラム）が何かしらの情報・データ（数字やテキストなど）を記憶する場所（セルのようなもの）
  - コンピュータは記憶の場所を沢山もっており，そこに値を代入（保存）したり，取り出したりできる
  - 最後に代入された情報のみを記憶している

変数名	値
i	10
r	
:	:

← **11**

← **3.14**

変数型

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 変数とは値を入れるスペース（どのようなスペースかを定義する必要あり）
  - int（整数）： 0, 1, 2, 3, 4, 5, …
  - float（実数）: 1.00, 3.14, 1.414, 1.732, …
  - boolean（真偽）： true, false
  - String（文字列）： nakamura, 中村聡史

```
int x;
float humidity;
boolean flag;
String name;
```

整数の変数 x を作成

実数の変数 humidity を作成

真偽の変数 flag を作成

文字列の変数 name を作成

変数

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室


```
int x;
float humidity;
boolean flag;
String name;
```

変数の型	変数名	値
int	x	
float	humidity	
boolean	flag	
String	name	

変数について

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 名前は英字1文字以上であれば何文字でもOK
  - 2文字目以降であれば数字もOK
- 最初にどんな型かを宣言する
  - 整数なのか，実数か，文字列か...
- 別のものに対して同じ名前は使えません
  - 変数は名前で区別されています
  - 大文字小文字が違えば別のものになります
- 変数に値を代入する場合は「=」を使う
  - 左側に代入する対象を，右側に代入する内容を

変数

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室


```
int x;
x = 5;
float humidity;
humidity = 30.5
boolean flag = true;
```

変数の型	変数名	値
int	x	5
float	humidity	30.5
boolean	flag	true

変数

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 変数 r に 10 * 2 の値を格納する方法

```
int r;
r = 20;
```

```
int r;
r = 10 * 2;
```

```
int r = 20;
```

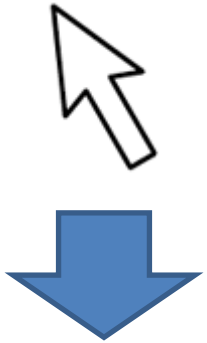
```
int r = 10 * 2;
```

どれでもOK！

ちなみに

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- mouseX や mouseY も変数
  - コンピュータが勝手に値を更新してくれている



mouseXと
mouseYを
随時更新

型	変数名	値
int	mouseX	????
float	mouseY	????

```
void setup()
{
  size(400, 300);
}

void draw()
{
  point(mouseX, mouseY);
}
```

変数への値の代入

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 値の代入

```
x = 1;
y = 5;
z = x + y;
```

= を1つ使うことで代入

- 数を増やす

```
count++;
y--;
```

count = count + 1;
y = y - 1;
という意味

変数の演算はどうするか？

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

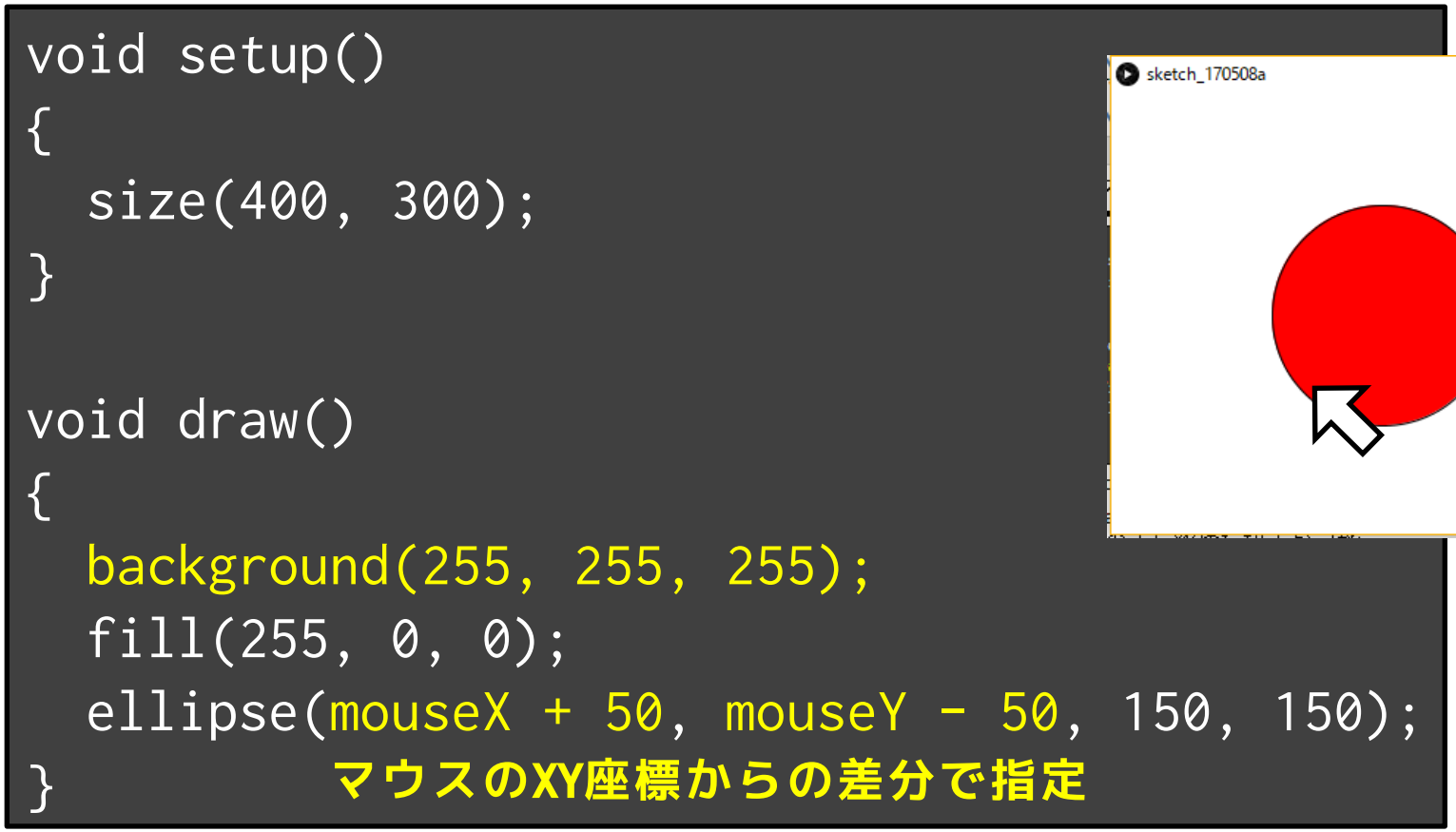

```
x + y
width * height
r * r * 3.14
(10+x)/(6-y)
10 % a
```

x + y	x に y を加える
x - y	x から y を引く
x * y	x に y を掛ける
x / y	x を y で割る
x % y	x を y で割った余り
+ x	x そのもの
- x	x の + と - を反転

処理順序は算数と一緒

カーソルからずらすには？

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室



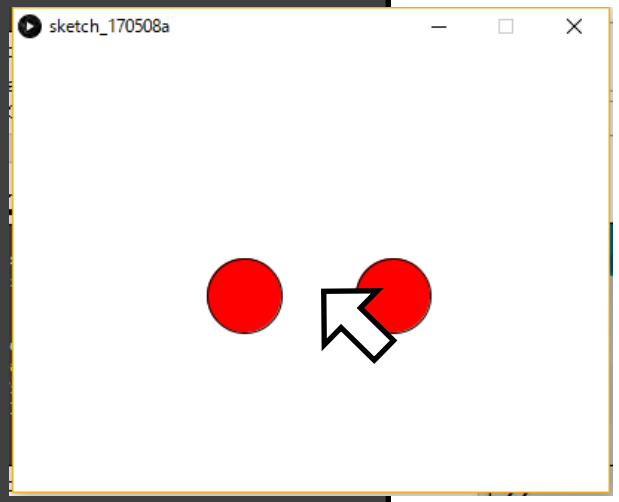
```
void setup()
{
  size(400, 300);
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  fill(255, 0, 0);
  ellipse(mouseX + 50, mouseY - 50, 150, 150);
}
```

マウスのXY座標からの差分で指定

- mouseX と mouseY はカーソルの位置
- 「+」や「-」で場所を動かす

2つ描くには…

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室




```
void setup()
{
  size(400, 300);
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  fill(255, 0, 0);
  ellipse(mouseX - 50, mouseY, 50, 50);
  ellipse(mouseX + 50, mouseY, 50, 50);
}
```

マウスのXY座標からの差分で指定

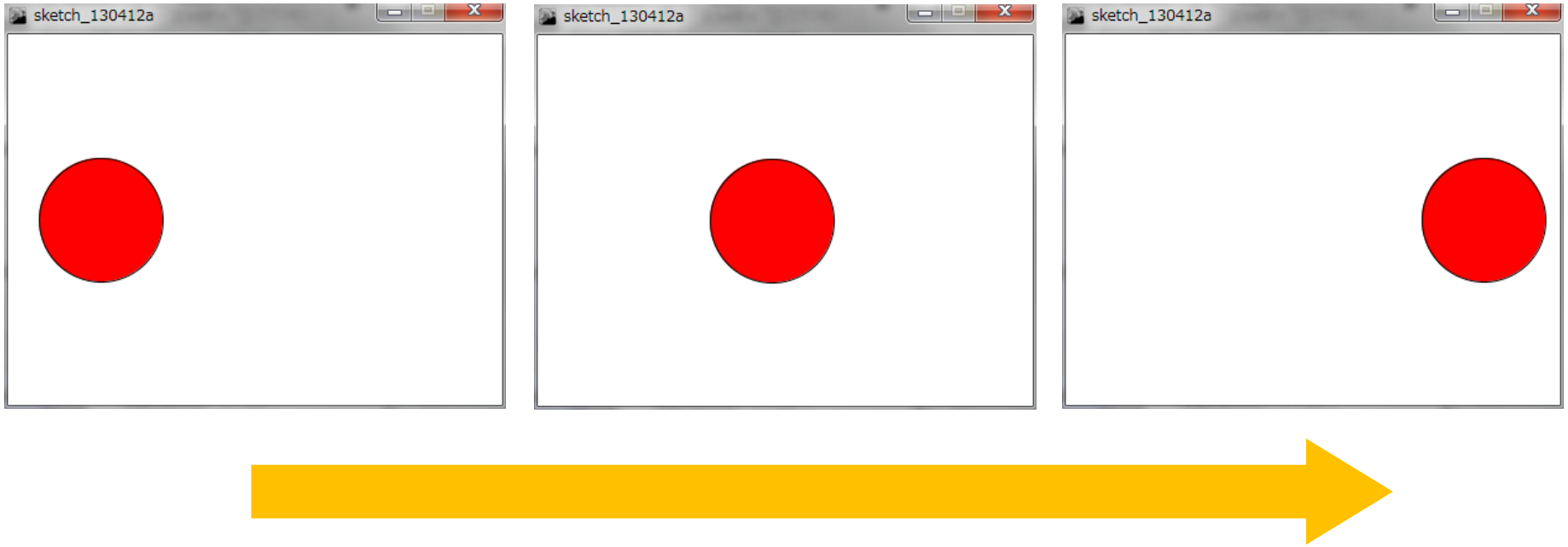
- mouseX と mouseY はカーソルの位置
- 「+」や「-」で場所を動かす

小テスト

円を繰り返し動かしたい

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

(Q) 400x300のウインドウで円を画面の左端から右端まで移動し，右端まで来たら左端に登場させたい



小テスト

円を繰り返し動かしたい

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 考え方
  - frameCount は 0, 1, 2, …, 299, 300, 301, 302, 303, … と増えていくが，「300」になったときに「0」になるようにしたい！
  - frameCount は 0, 1, 2, …, 299, 0, 1, 2, 3, … と増えていくようにすると解決するはず！
  - 300 = 0, 301 = 1, 302 = 2, 303 = 3, 304 = 4 とするにはどうしたらよい？
    - 「300 を引いたらいい？」 →「0 の場合に -300になる」
    - 答えは「300で割った余りを計算する！」
    - つまり「frameCount % 300」となる

円を繰り返し動かしたい

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

(A1) 円を左端から右端まで移動し繰り返す

1. 円の中心のY座標を150で固定しX座標を変更
2. X座標を増やすと円は右に，減らすと左へ移動
3. draw() で描画する度にX座標を増やせばOK
4. draw() の度に frameCount という変数が1増加
5. X座標の値を frameCount % 300 とする！

```
void setup()
{
  size(300, 200);
}
void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  println(frameCount);
  ellipse(frameCount % 300, 150, 100, 100);
}
```

円を繰り返し動かしたい

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

(A1) 円を左端から右端まで移動し繰り返す

1. 円の中心のY座標を150で固定しX座標を変更
2. X座標を増やすと円は右に，減らすと左へ移動
3. draw() で描画する度にX座標を増やせばOK
4. draw() の度に frameCount という変数が1増加
5. X座標の値を frameCount % width とする！でもOK

```
void setup()
{
  size(300, 200);
}
void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  println(frameCount);
  ellipse(frameCount % width, 150, 100, 100);
}
```

円を繰り返し動かしたい

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

(A2)円を左端から右端まで移動し繰り返す

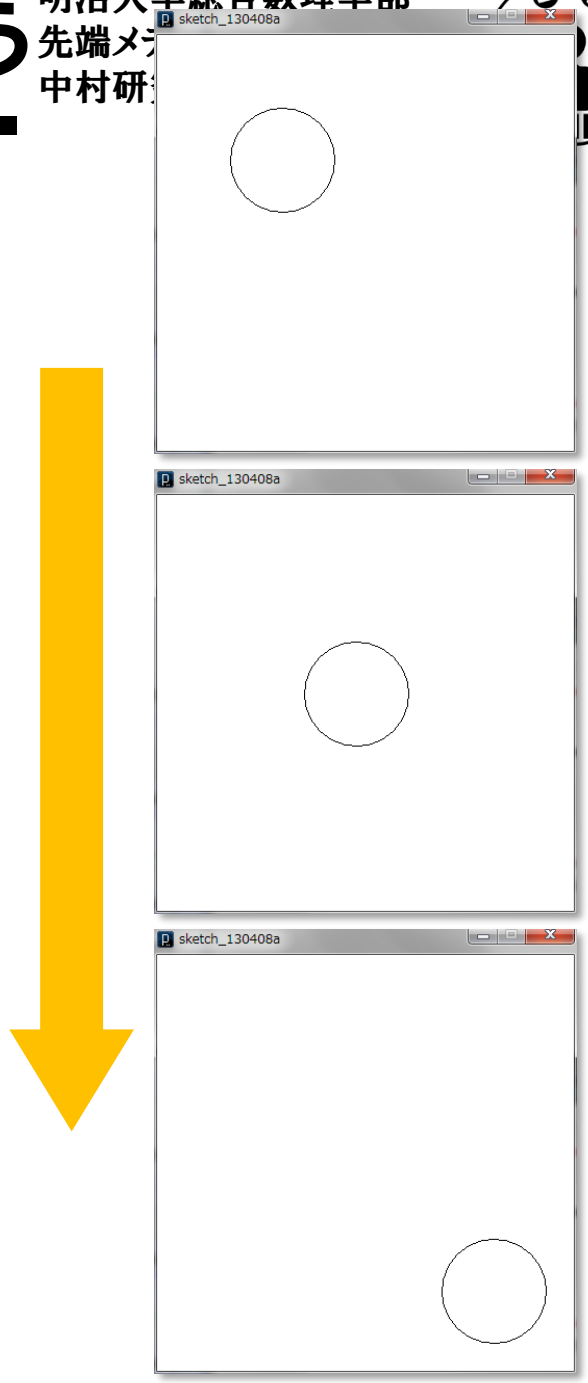
1. 円の中心のY座標を150で固定しX座標を変更
2. X座標を増やすと円は右に，減らすと左へ移動
3. draw() で描画する度にX座標を増やせばOK
4. X座標の値をxとし，
   描画する度に増やす
5. x % 300 に描画する
   （x % widthでもいいよ）

```
int x;

void setup()
{
  size(300, 200);
  x = 0;
}
void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  ellipse(x % 300, 150, 100, 100);
  x = x + 1;
}
```

アニメーションしてみよう

明治大学総合数理学部
先端メ
中村研

```
int i;

void setup()
{
  size(400, 400);
  i = 0;
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  ellipse(i, i, 100, 100);
  i = i + 1;
}
```



アニメーションしてみよう

明治大学総合数理学部
先端メ
中村研

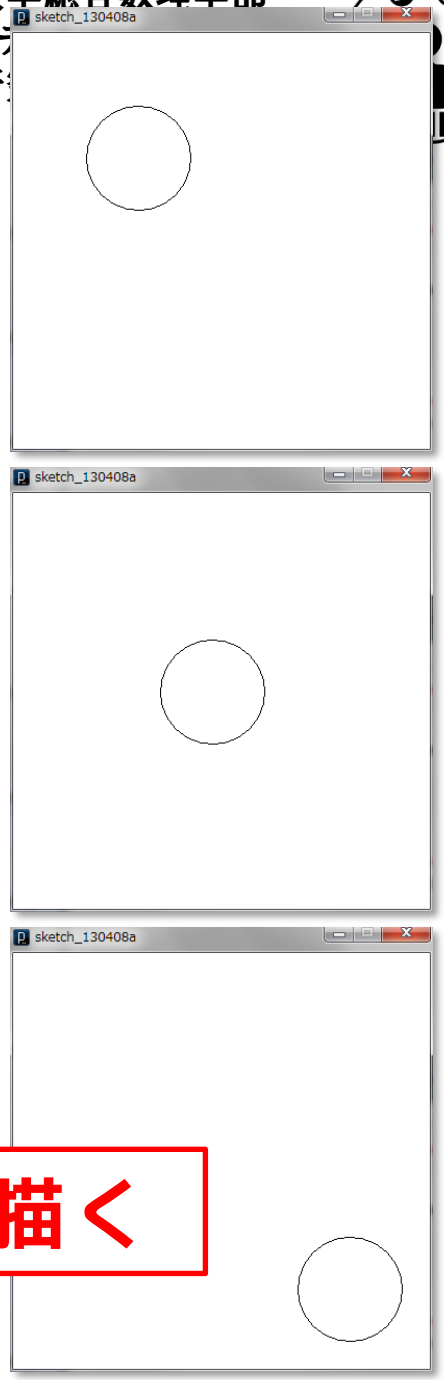
変数 i を定義

```
int i;

void setup()
{
  size(400, 400);
  i = 0;
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  ellipse(i, i, 100, 100);
  i = i + 1;
}
```

i に 0 を代入

座標(i, i) に円を描く

i を 1 増やす



アニメーションしてみよう

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

```
int x;
int y;
void setup()
{
  size(400, 300);
  x = 0;
  y = 0;
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  ellipse(x, y, 100, 100);
  x = x + 2;
  y = y + 1;
}
```

変数 x を定義

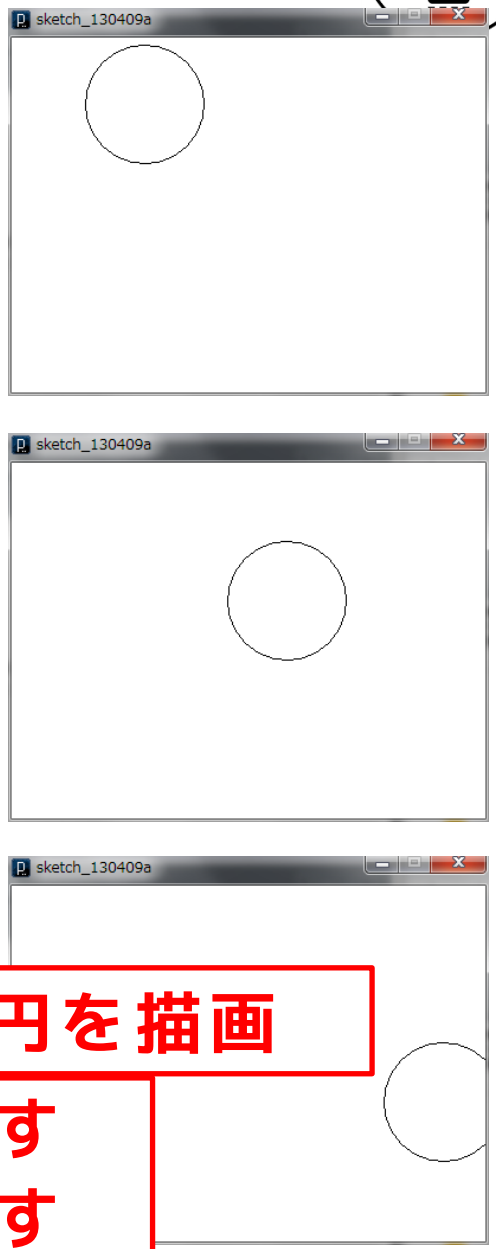
変数 y を定義

変数 x に 0 を代入

変数 y に 0 を代入

x，y に円を描画

xは1回あたり2増やす
yは1回あたり1増やす



アニメーションしてみよう

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

```
int x = 0;
int y = 0;
void setup()
{
  size(400, 300);
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  ellipse(x, y, 100, 100);
  x = x + 2;
  y = y + 1;
}
```

変数 x を定義して 0 に

変数 y を定義して 0 に

変数を定義するときに
値を代入してもOK！

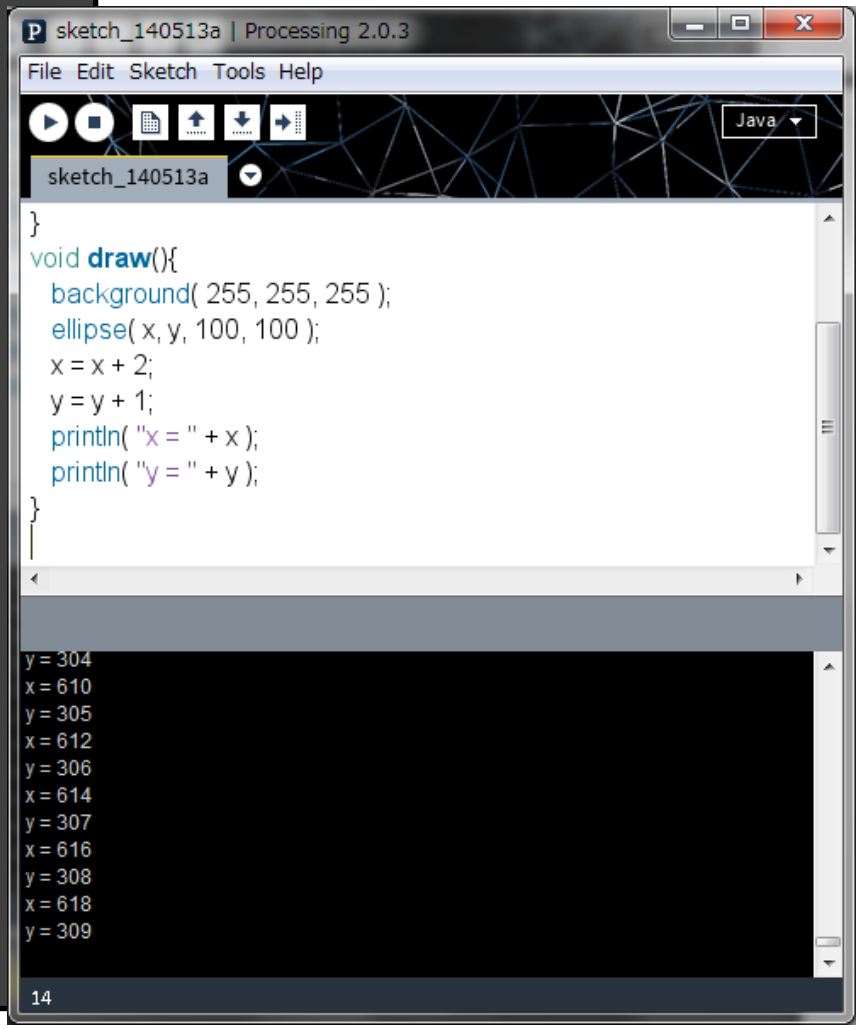
x，y に円を描画

xは1回あたり2増やす
yは1回あたり1増やす

値の動きを見てみよう！

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室


```
int x=0;
int y=0;

void setup()
{
  size(400, 300);
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  ellipse(x, y, 100, 100);
  x = x + 2;
  y = y + 1;
  println("x = " + x);
  println("y = " + y);
}
```



計算結果を表示してみよう

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 入力して実行してみましょう
  - 半径から面積を求める

```
float  r = 10.0;
println(r * r * 3.14);
r = 5.31;
println(r * r * 3.14);
r = 15.3 / 2;
println(r * r * 3.14);
r = r * 4;
println(r * r * 3.14);
```

```
314.0
88.53576
183.76067
2940.1707
```

text による表示

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 通常の文字列表示方法：「"」で文字列を囲む

  text("出力する文字", X座標, Y座標);

  変数と文字列をくっつけるときは「＋」を使う！
- 現在のマウスカーソル座標を表示するには？
  - 座標は mouseX, mouseY という変数に格納
  - 文字列と変数を表示するにはどうするか？
  - 文字列と変数をつなげるときには「+」を使う
  - 下記のコードを前頁のellipseの後に入れましょう

```
text(mouseX + "," + mouseY, 100, 100);
```

四角形と面積を計算

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

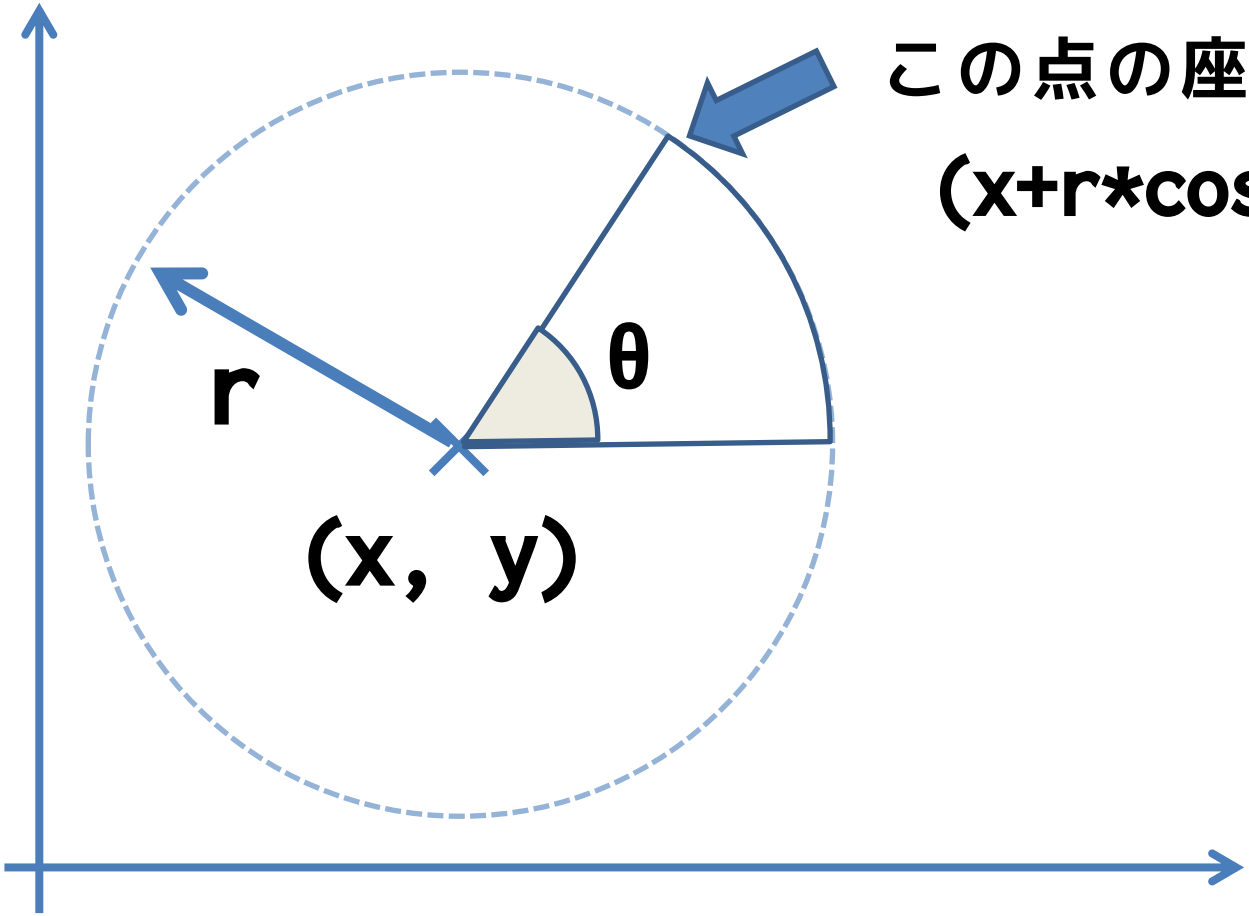
- 左上の原点からマウスカーソル位置まで四角形を表示し，その面積を計算して表示する！

```
void setup()
{
  size(400, 300);
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  fill(255, 0, 0);
  rect(0, 0, mouseX, mouseY);
  text("menseki " + mouseX * mouseY, 0, 280);
}
```

角度を指定した描画

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

(Q) 画面中央(200, 150)から，半径100，角度が60度の点まで線を引くにはどうするか？



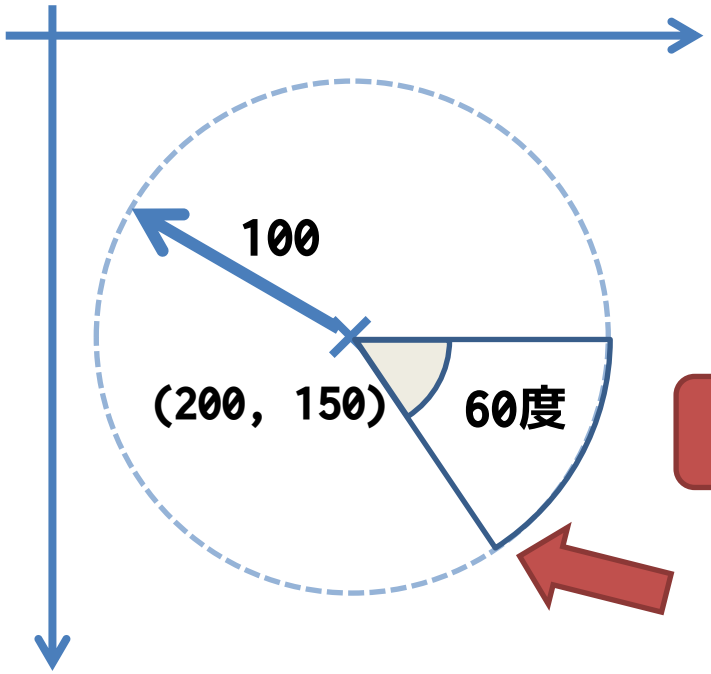
この点の座標は？

(x+r*cosθ, y+r*sinθ)

角度をどう扱うか

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- cos(角度); は角度のコサイン値
- sin(角度); は角度のサイン値
  - ただし，角度はラジアン単位（0〜2π）
  - ちなみに，πはPI（大文字のピーとアイ）と表現



y軸方向が上から下へなので
回転方向が逆になる

60度はラジアンで（60/360)*2π

角度をどう扱うか

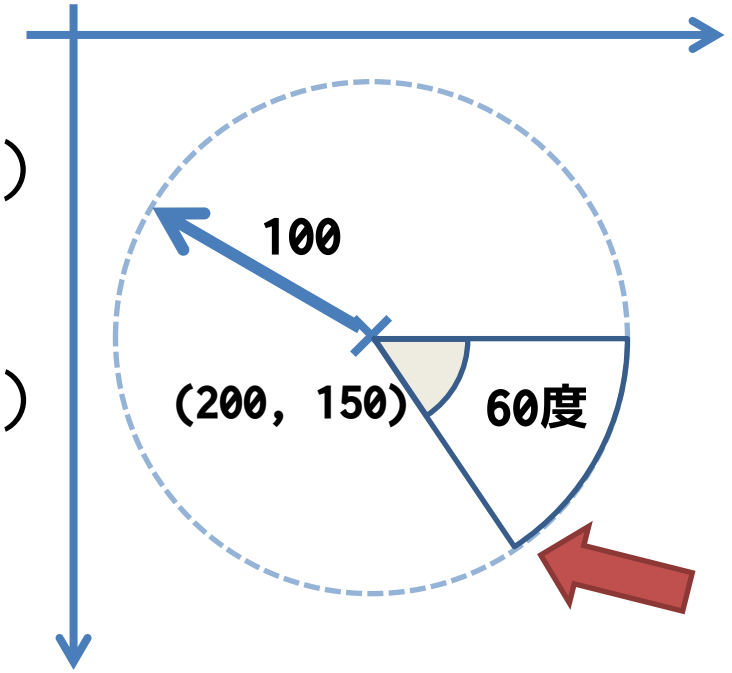
明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

x 座標は

```
200 + 100 * cos((60/360)*2*PI)
```

y 座標は

```
150 + 100 * sin((60/360)*2*PI)
```



- ただ，うまくいかず，線が横に描画される
  - なぜ？？

整数と実数

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 200+100*cos((60/360)*2*PI)の計算は

  整数+整数*cos((整数/整数)*整数*実数)

- 整数/整数=整数となるので，60/360は本来0.1666...なのに小数点以下切り捨てで0に

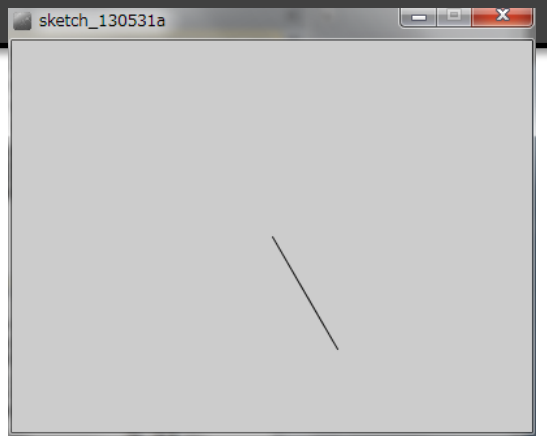
  200+100*cos(0*2*PI) = 200+100*cos(0) = 300

角度を指定した描画

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- xの座標: 200+100*cos((60.0/360.0)*2*PI)
- yの座標: 150+100*sin((60.0/360.0)*2*PI)
- 線は line(x1, y1, x2, y2); で描画できる

```
size(400, 300);
float x = 200+100*cos((60.0/360.0)*2*PI);
float y = 150+100*sin((60.0/360.0)*2*PI);
line(200, 150, x, y);
```

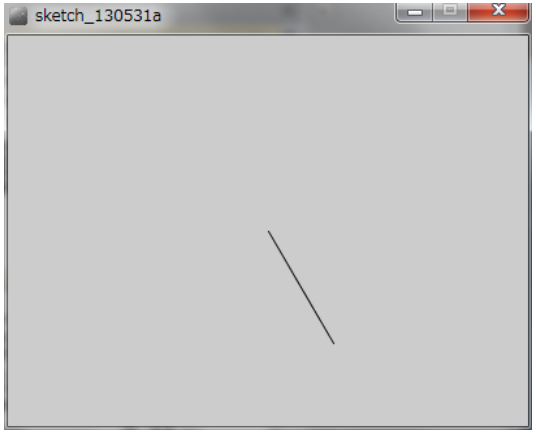


角度を指定した描画

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- xの座標: 200+100*cos(radians(60))
- yの座標: 150+100*sin(radians(60)) でもOK!
  - radians(角度) で，ラジアンの値に変換できる！

```
size(400, 300);
float x = 200 + 100 * cos(radians(60));
float y = 150 + 100 * sin(radians(60));
line(200, 150, x, y);
```



試しに

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

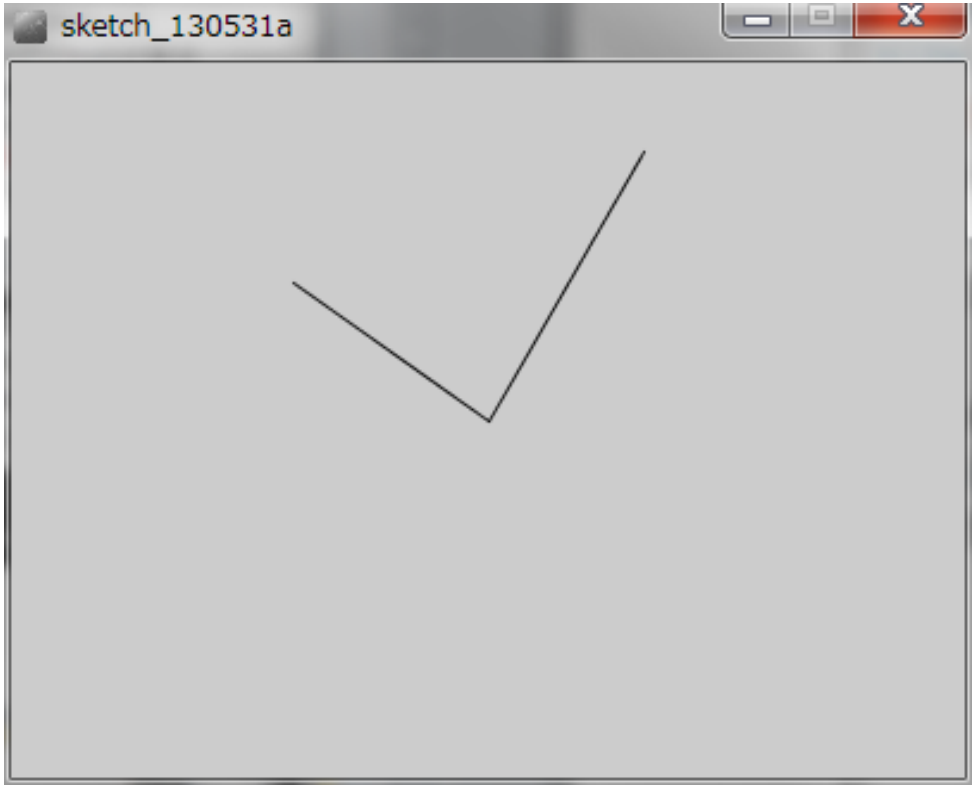
- println で出力してみよう！
  - 180度はπなので3.1415…となるはず

```
println(PI);
println(radians(180));
println(2 * PI);
println(radians(360));
println(0.5 * PI);
println(radians(90));
```

予習問題

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 10時10分の時の，アナログ時計の長針と短針を描画してみましょう



予習問題

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

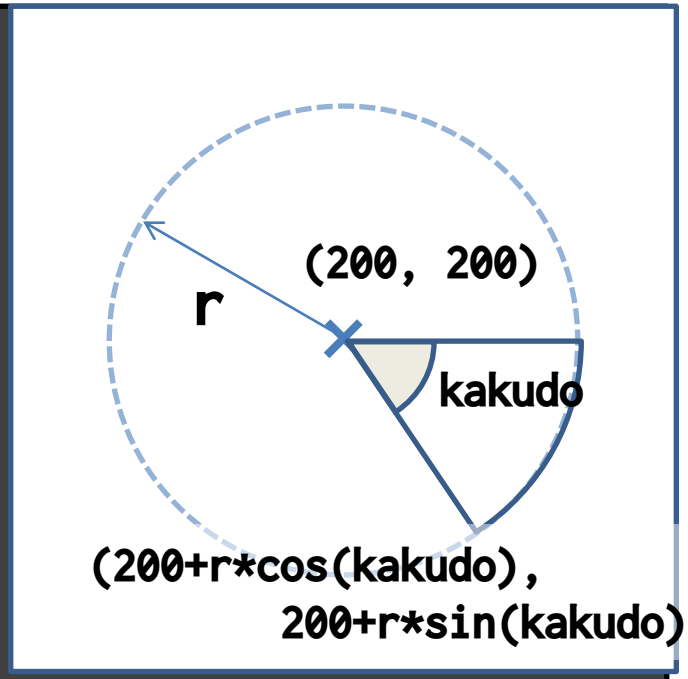
- ヒント
  - 中心の座標は（　　，　　）
  - 短針の長さ　＝
  - 短針が指し示す10時の角度　＝
  - 短針の端の座標は（　　，　　）
  - 長針の長さ　＝
  - 長針が指し示す10分の角度　＝
  - 長針の端の座標は（　　，　　）

計算して描画

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 円をくるくる回転させてみる

```
float kakudo = 0;

void setup()
{
  size(400, 400);
}

void draw()
{
  background(255, 255, 255);
  fill(255, 0, 0);
  float  x = 200 + 100 * cos(kakudo);
  float  y = 200 + 100 * sin(kakudo);
  ellipse(x, y, 100, 100);
  kakudo = kakudo + (5.0 / 180.0) * PI; // 5度ずつ増やす
}
```



cos や sin の単位はラジアン！

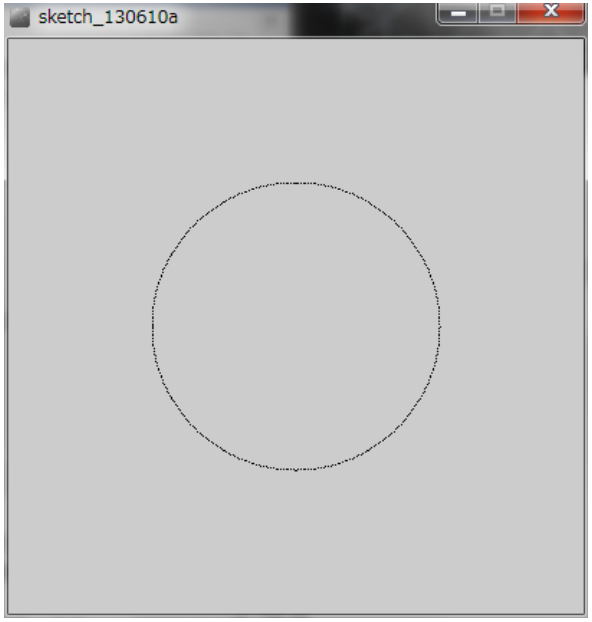
円を点で描画してみる

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

(Q) 400x400のウインドウ上に半径100の円を点で描画するにはどうするか？

- ヒント（考え方）
  - 円の中心座標は (200, 200)
  - point で点を描く
  - 角度を i とし draw の度に増やす
  - 点を描く場所は
    - x = 200 + 100 * cos(radians(i))
    - y = 200 + 100 * sin(radians(i))

    となる



円を点で描画してみる

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 角度を指定する変数（整数）を i とし，どんどん増やしていく
- ラジアンに変換するのは radians(i)

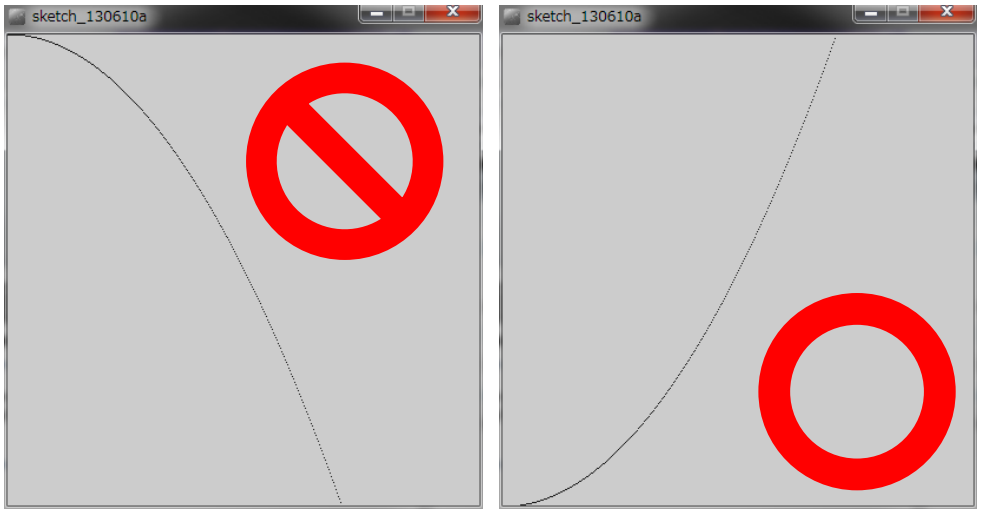
```
int i = 0;

void setup()
{
  size(400,400);
}
void draw()
{
  float x = 200 + 100 * cos(radians(i));
  float y = 200 + 100 * sin(radians(i));
  point(x, y);
  i = i + 1;
}
```

放物線を点で描画

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

(Q) $y = \frac{x^2}{200}$ グラフを描け

- ヒント（考え方）
  - 整数の変数 x を用意して x を draw() のたびに増やす
  - y 座標の値を x * x / 200 で計算する
    - 上下を反転させるにはどうするか？



放物線を点で描画

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- y 座標は下方向に進む
  - ウインドウの一番下を0とするため，height - x*x/200

```
int x = 0;

void setup()
{
  size(400, 400);
}

void draw()
{
  int  y = x * x / 200;
  point(x, y);
  x = x + 1;
}
```

```
int x = 0;

void setup()
{
  size(400, 400);
}

void draw()
{
  int y = x * x / 200;
  point(x, height - y);
  x = x + 1;
}
```

予習問題

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 600x400のウインドウ内に，一辺が100ピクセルの正方形を画面の左端から右端に移動してみましょう
- 画面内に円を描き，その円の塗りつぶし色を黒色から赤色に変更していきましょう
  - (255，0，0)から(0，0，0)に徐々に変更
- $y = \frac{(x-100)^2}{200}$の放物線を描け

変数の値の入れ替え

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- どうやって変数の値を入れ替えるの？

変数の型	変数名	値
int	x	5
int	y	3
:	:	

```
x = y;
y = x;
```

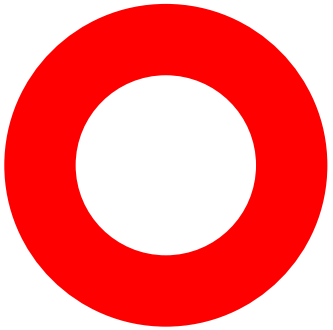
変数の型	変数名	値
int	x	3
int	y	3
:	:	

変数の値の入れ替え

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 変数を追加する

```
int temp = x;
x = y;
y = temp;
```



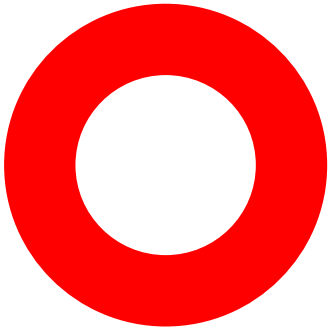
変数の型	変数名	値
int	x	3
int	y	5
int	temp	5

変数に対する注意点

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- 同じ変数は定義することが出来ない
  - コンピュータは変数の名前で判断しているので同じ名前の変数は，1つしか存在できない
    - 同姓同名だと人間でも困りますよね

```
int x;
int y;
```



```
int x;
int x;
```

```
int x;
float x;
```

変数に対する注意点

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- グローバル変数とローカル変数
  - {} 内で定義されている変数は他から利用出来ない
  - {} 外で定義されている変数はどこからでも利用可能

```
int x = 10;

void setup()
{
  int y = 20;
  size(400, 300);
}

void draw()
{
  ellipse(x, y, 20, 20);
}
```

グローバル変数

ローカル変数

x はグローバルなので使えるけど
y はsetup内でローカルなのでx

ローカルとグローバル

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

- どうなる？

```
int globalX; // グローバル変数を定義

void setup()
{
  size(300, 200);
  // グローバル変数に値を入れる
  globalX = 0;
}

void draw()
{
  int localX; // ローカル変数を定義
  localX = 0; // ローカル変数に値を入れる
  background(255);
  globalX++;
  localX++;
  // それぞれの値で描画してみる
  ellipse(globalX, 50, 100, 100);
  ellipse(localX, 150, 100, 100);
}
```

変数に対する注意点

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

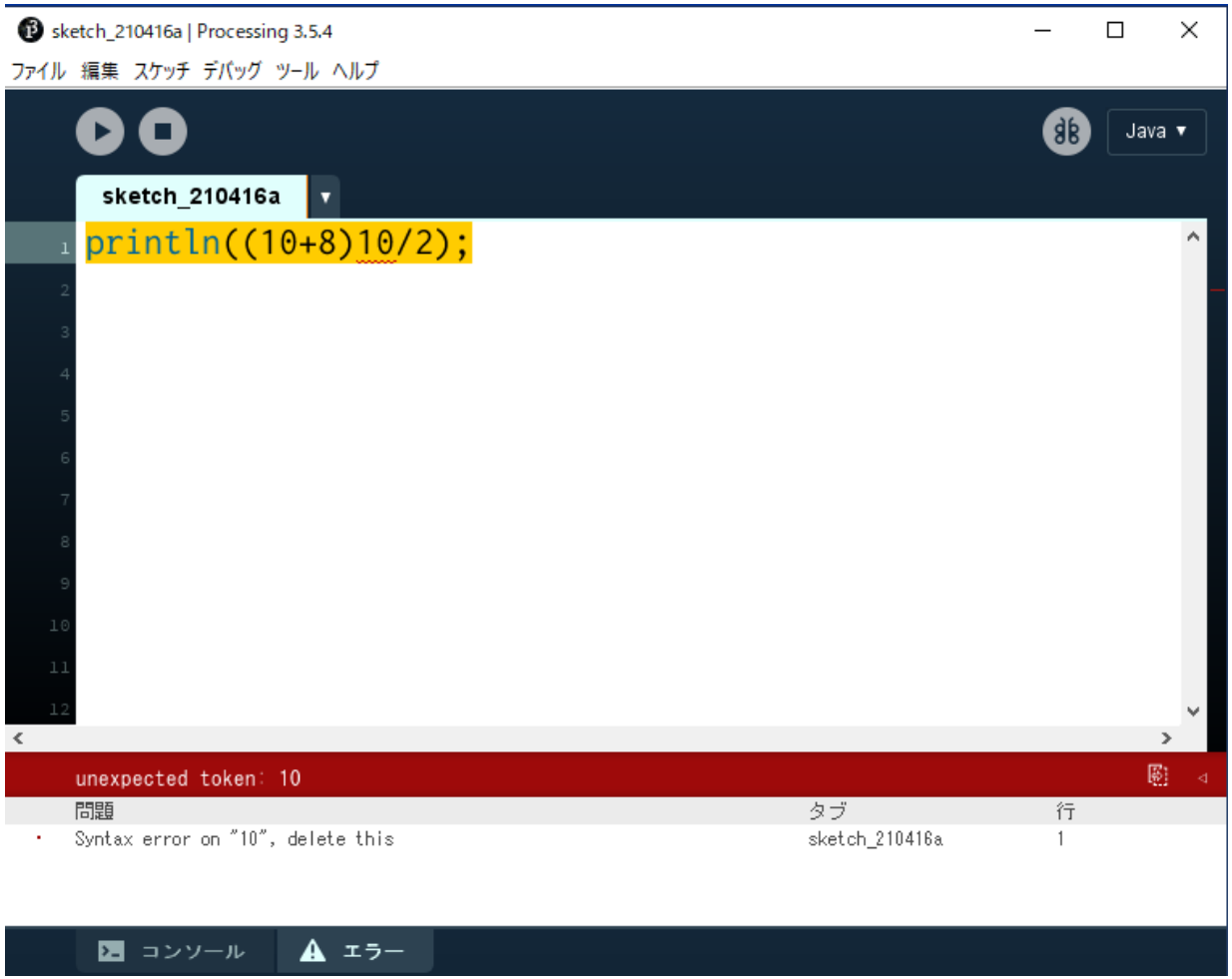
- グローバル変数とローカル変数
  - {} 内で定義されている変数は他から利用出来ない
    - 友達など内輪でのニックネームみたいなもの
  - {} 外で定義されている変数はどこからでも利用可能
    - 世の中全般で通じる名前
  - {} 内で定義されている変数と，同じ名前の変数を別の {} 内で定義することは可能（違う内輪なので）
  - グローバル変数として定義した変数を，ローカル変数にすると名前がかぶるので問題有り

今回のエラーメッセージ

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

Syntax error on “10”. delete this

unexpected token: 10

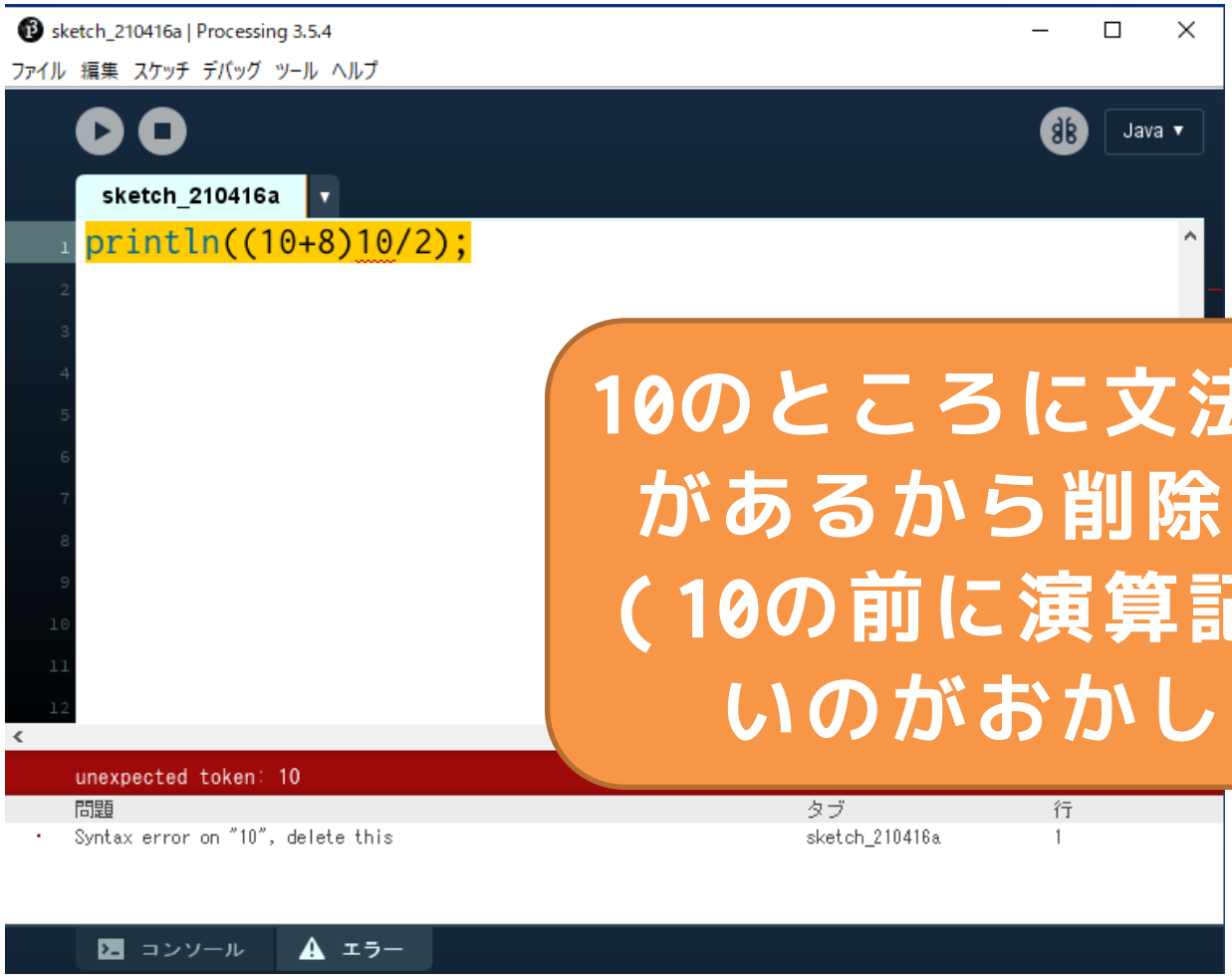


今回のエラーメッセージ

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

Syntax error on “10”. delete this

unexpected token: 10



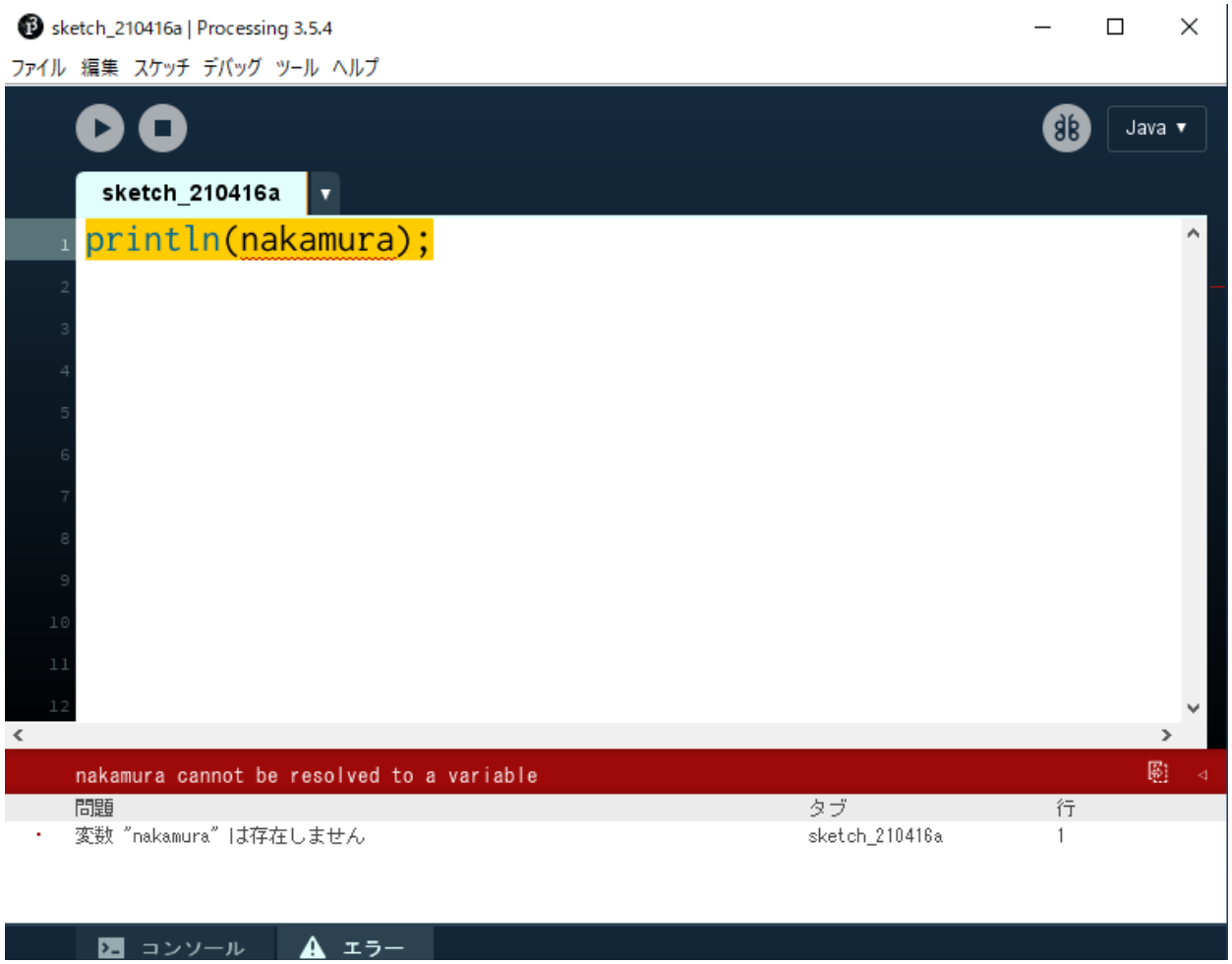
10のところに文法エラーがあるから削除しーや（10の前に演算記号がないのがおかしい）

今回のエラーメッセージ

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

変数"nakamura"は存在しません

nakamura cannot be resoloved to a variable

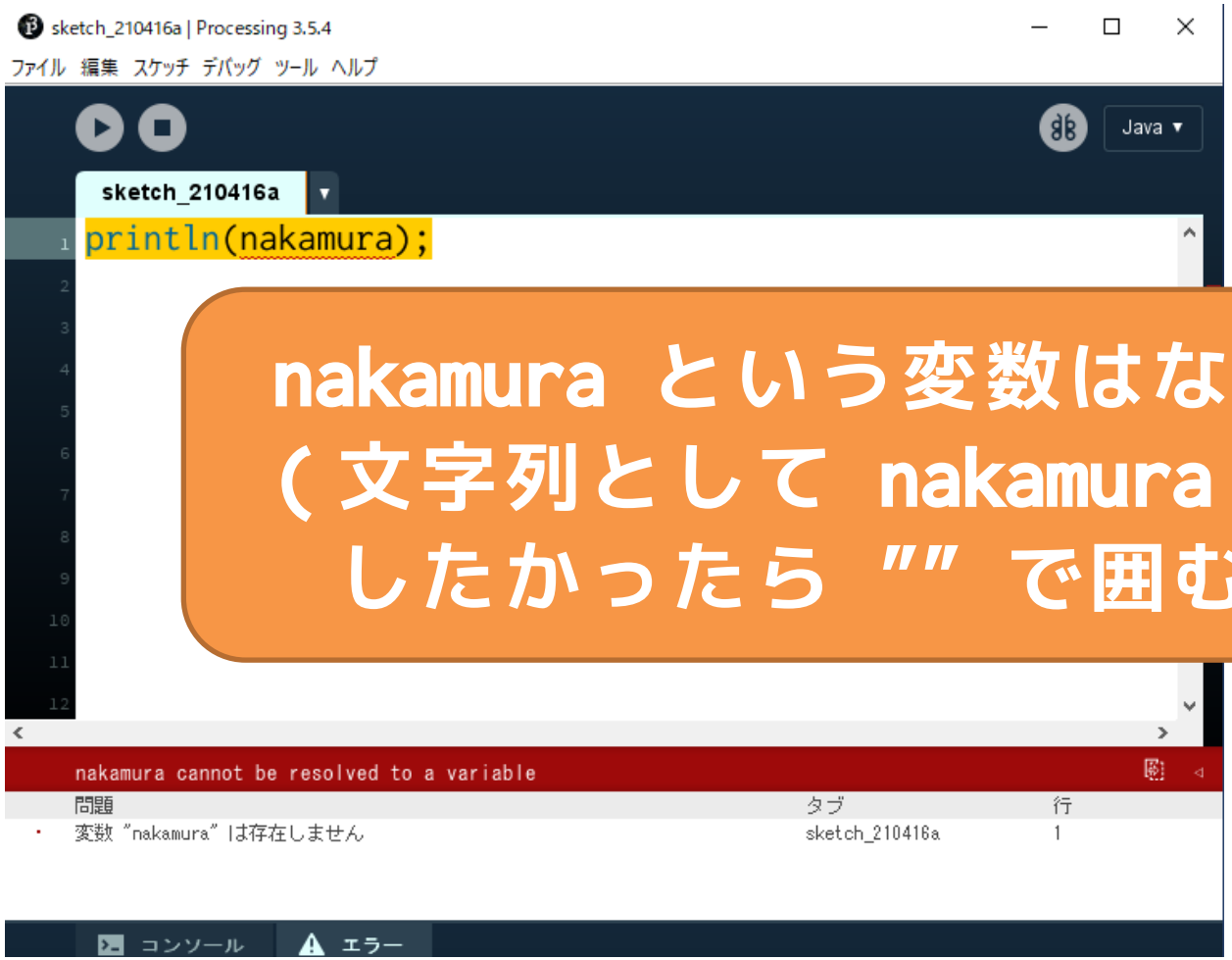


今回のエラーメッセージ

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

変数"nakamura"は存在しません

nakamura cannot be resoloved to a variable



nakamura という変数はないよ！
（文字列として nakamura を出力したかったら "" で囲む！）

今回のエラーメッセージ

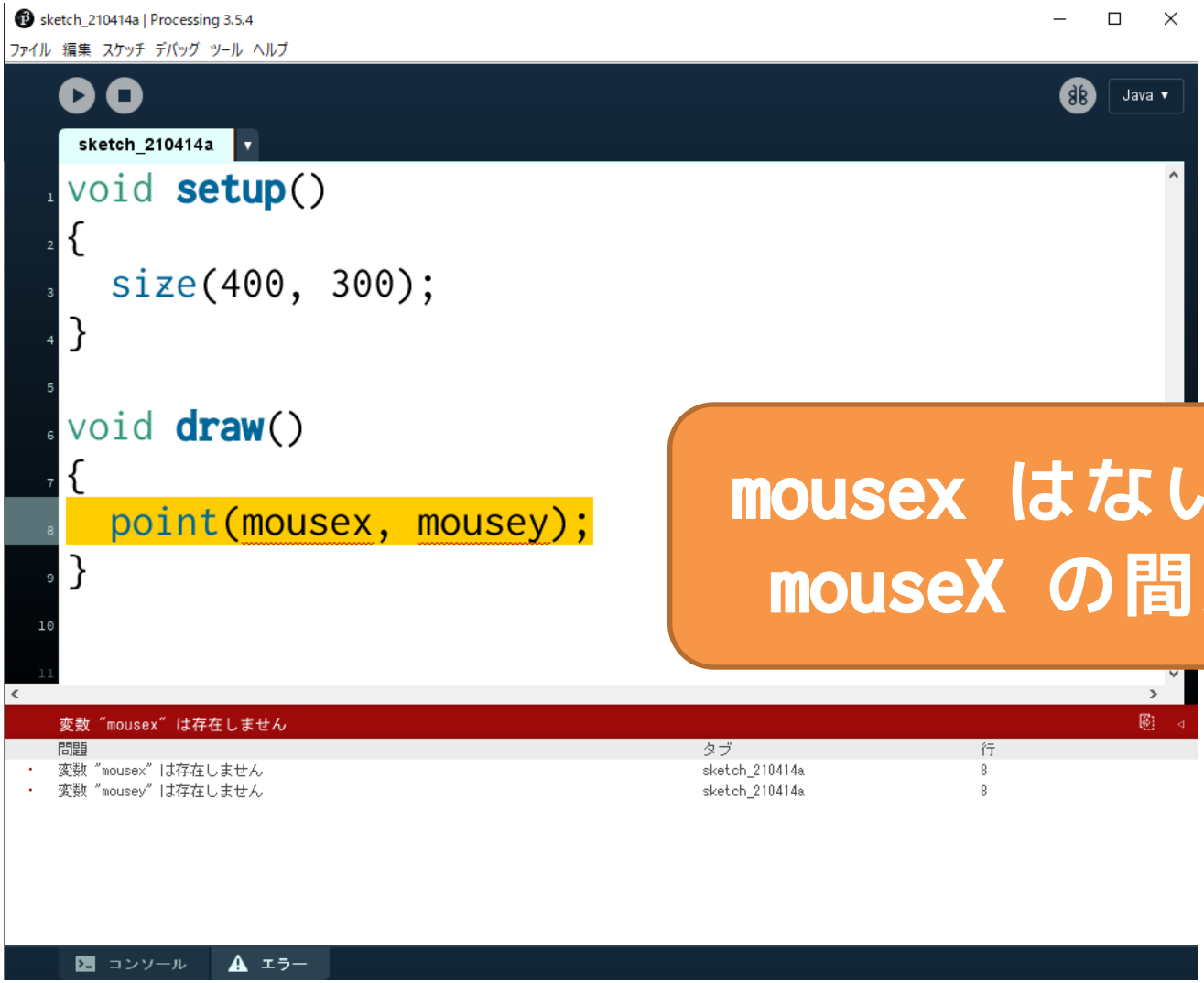
明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

変数 “mouseX” は存在しません

今回のエラーメッセージ

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

変数 “mousex” は存在しません

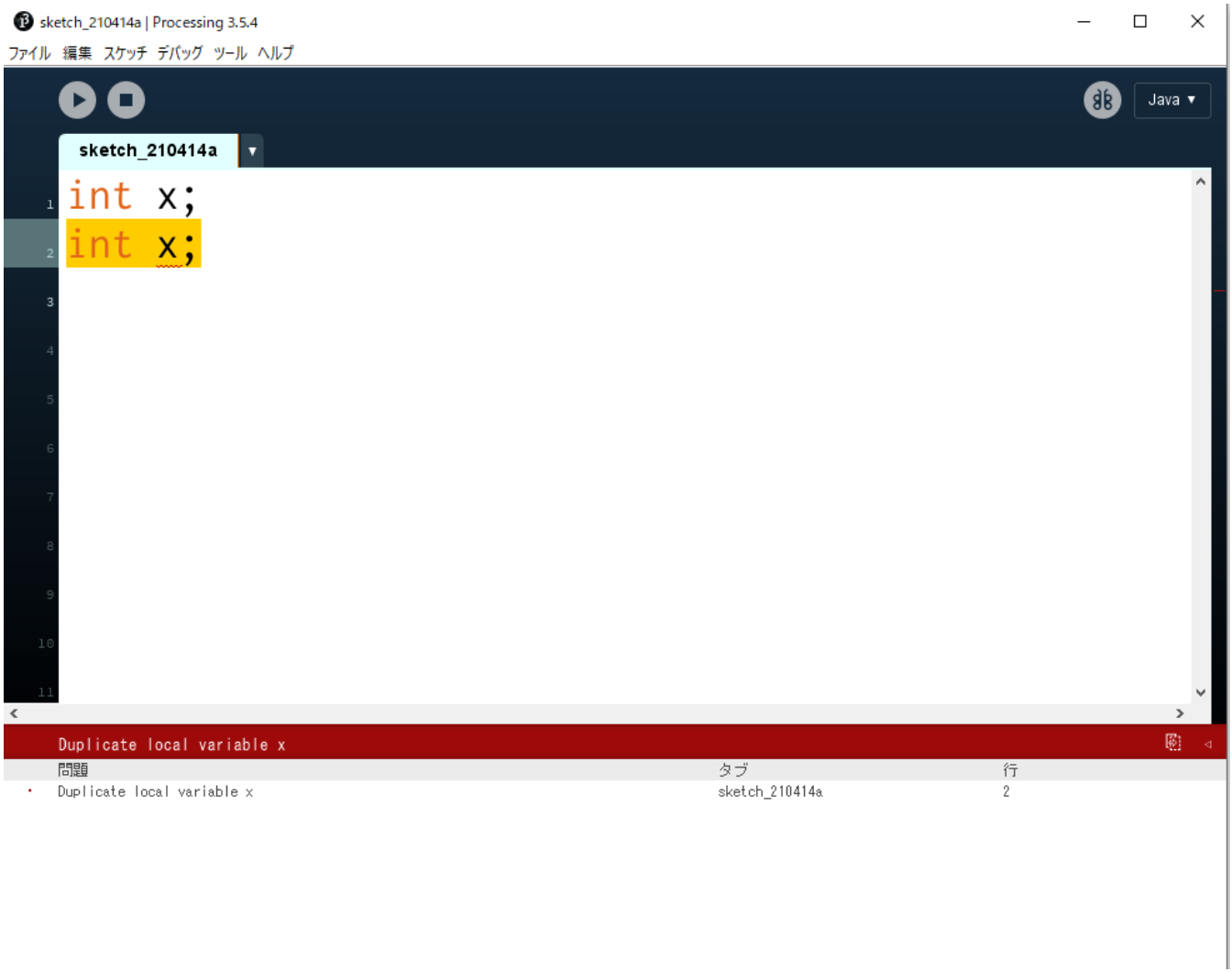


mousex はないよ！
mouseX の間違い

今回のエラーメッセージ

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

Duplicate local variable x



今回のエラーメッセージ

明治大学総合数理学部
先端メディアサイエンス学科
中村研究室

Duplicate local variable x

x というローカル変数が
複製されてるよ！
多重定義されてるよ